

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	成人保健係
■評価事業名称	自殺対策事業			
■事業開始年度	平成22年度			
■評価事業コード	040200 - 260	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	地域自殺対策緊急強化交付金交付要綱、自殺対策基本法			
■関連計画の名称	岩手県自殺対策アクションプラン北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	自殺企図者等の適切な対応・支援を行う人材を養成し、相談支援体制を充実するとともに、自殺予防の普及啓発を実施して、自殺者の減少を図る。一人ひとりが自殺予防のための行動ができるように、広報啓発の実施及び相談支援体制の充実を図る。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	自殺対策事業	一般市民、民生委員等	自殺者数25人以下人材養成研修会2回(民生委員、市職員等を対象)、講演会3回(若年層対策として)、こころの体温計周知カード配布北上市自殺対策計画策定	自殺者数14人人材養成研修会2回(民生委員)101人、講演会2回(北上翔南高等学校生徒・和賀東中学校生徒及び教員)476人 こころの体温計周知カード配布3,937枚

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	451	466	348	3,194	
人件費	3,947	3,679	6,652	8,065	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,398	4,145	7,000	11,259	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	自殺者数の減少	17人	19人	19人	14人	出典:警察庁「自殺統計」
02	普及啓発講演会の延べ参加者数	784人	222人	90人	476人	延参加者数
03	普及啓発1回当たりコスト	74千円	91.92千円	18.67千円	23.65千円	フルコスト/参加者数

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

04	人材育成1回当たりコスト	9.26千円	11.25千円	27.09千円	111.47千円	フルコスト／参加者数
05	人材養成研修の延べ参加者数	120人	72人	24人	101人	延研修会参加者数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

自殺者数は平成22年40人から平成30年14人と減少してきている。

問題点・課題等

自殺数・自殺死亡率は減少してきており、平成30年は全国と同等となった。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

平成30年度に北上市自殺対策計画を策定し、平成31年度から全庁的な取り組みを進めていく。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了